

スソ物ではビス付サッシ80~85円(キロ当たり)、缶プレ(ソフト)70円、缶パラ40~50円。上物では2S90~95円、63Sで92~101円と、4月後半時点からまったく変わっていない。それどころか、タイト感が強まってきているため、買値をさらに引き上げなければ、数量は集められないのではという不安の声がでている。このため先週末に示された2次合金メーカーの買値据え置きを、すんなり受け入れた直納問屋は少なかったようだ。

ただ、2次合金メーカーは、アルミ2次合金需要が低迷したままで、スクラップ購入価格の引き上げ余地などまったくなかった4月に、輸出業者(主な向け先は中国)が高値買いを行っていたため、その対抗措置として、スクラップ購入価格

の引き上げを余儀なくされた。いま輸出業者の高値買いも治まっているため、4月のこの値上げは5月前半の値上げを前倒しして行なったものとして扱いたいとの考えが強く、こちらも購入価格の据え置きはゆずれないという姿勢にある。両者の意見は先週の段階では収束されていないため、値決め交渉は今週にずれ込んでいるものの、12~13日には大勢が決まるものとみられている。なお4月後半の2次合金メーカーの購入価格(置場・現金)は、スソ物はビス付サッシ95~100円(キロ当たり)、缶プレ(ソフト)は85~90円(アルミ缶再生メーカーのUBCメーカーで85円)。上物では2S100~108円、63Sで100~110円が中心値となっている。

上海モーターショーから 橋本アルミ(株) 上海UMC有限公司

ところで今回のモーターショーも含め今後はオバマ米大統領が唱えるグリーンニューディールの一環で、電気自動車やハイブリッド車が主流になると思われますが環境ビジネスとしてのレアメタル業界はどうなりますか?

N 私が扱っているレアメタルは、希土類、ガリウム、インジウム、ゲルマニウムとなっております。これら、レアメタルが今、オバマ米大統領が唱えるグリーンニューディールと相まって、とても注目を集めています。ソーラーパネルにはCIGS(銅 インジウム ガリウム、セレン)(※1)、GIG(ガリウムインジウムゲルマニウム)が次世

環境ビジネスの展望② 橋本健一郎氏 中村創一郎対談

代パネルの最有力候補として挙がっています。4月の頭には台湾正峰工業がCIGSラインの増設を決定しており、ガリウム価格に若干の変化が出ています。

また石家庄市が、LED灯を街灯に用いることを決定しております。(※2)。市況への影響は今後の実需要次第ですが、石家庄市以外にもLED街灯への投資が噂されており、各市の動向が気になるところです。

環境自動車といえば、ハイブリット自動車ですが、ハイブリット自動車のモーター部はネオジム磁石が用いられています。本年に入りネオジムメ

世界を結ぶ
専門商社



HGITANI

亜鉛・鉛・銅・ステンレス・機械・半導体
アルミ・金属珪素・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀1-3-7
TEL(06)6444-1520~1530

東京支店 東京都千代田区神田錦町3-15
TEL(03)5282-4800

名古屋支店 名古屋市中村区名駅3-16-22
TEL(052)571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾
マレーシア・フィリピン・上海・深圳

<http://www.ogico.co.jp>

アルミ
63 S・D 粉

(株) アイコー

代表取締役 宮本 盛徳

本社 東大阪市洪川町2-9-27
〒577-0836 TEL 06-4307-0600
伊賀アルミセンター 三重県伊賀市西之沢162
〒519-1426 TEL 0595-45-6510

タルは2006年以來の最安値を迎えましたが、世界同時不況にもかかわらず、V時回復を果たしており、底値は堅い状況です。上海モーターショーでは、電動自動車(※3)、ハイブリットカー(※4)が特に注目を集めていましたね。

製品にレアメタルを用いる目的は小型化、省エネ化です。今後はそうした大きな流れを受けてレアメタルの需要は増加をたどると考えています。レアメタルの埋蔵量は限られており、下落局面を迎えている現在は一時的なものであり、今後も価格は強いと私は見ております。

※1 CIGSとはCopper、Indium Galium Selenを用いた新しいソーラーパネル。

※2 中国電子科技集団の調査によると、LED

を利用した街灯を利用することにより、石家庄市の電気代が900万元/年間 節約できる。

※3 電動自動車のバッテリー部にレアアースの混合物である、ミッシュメタルが用いられる場合がある。

※4 豊田自動車はネオジム磁石にネオジウムメタル以外の希土類としてDyを加え耐熱性を向上させている。

■ なるほど

N 非鉄業界はどうなりますか?

H 私もこのグリーンニューディールに多いに期待しています。

現在1000人当たりの自動車保有台数がアメリカ800台、日本600台、中国50台です。すべての中国国民が自動車を持てば・・・というロジックはGDPが世界第3位であるにも関わらず一人当たりのGDPが104位という貧富の差が大きい中国で引用するのはナンセンスですが人口13億の中国が成長していく仮定で当然OIL、メタルを含む資源も足りなくなるしマーケットや環境にさまざまな影響がでてきます。エネルギー転換は今後の絶対課題です。

また非鉄業界にとっても電子化による銅需要の



中国メーカーもハイブリッド!



やはり日本車は大人気



再建中のGMも上海では大盛況

『弥栄電線』の
地球環境を考えた製品

鉛フリー

VV—F
エコケーブル

タイシガイセン EM 600V EEF/F

営業品目

◆VV—F◆カラーVV—F◆200V用VV—F

◆アース線入りVV—F◆スルーVV—F

◆EM600V EEF/F◆カラーEEF/F

◆コード(VCTFK・VCTF)

◆電子ボタン電話線◆4C電話線◆2Pカッド線



弥栄電線株式会社

TEL (072) 351-3521 (代表) FAX (072) 362-6879

増加、軽量化によるアルミ需要の増加、環境意識の高まりや減税による買い替えなどの特需なども大いに期待できます。

ただし今後はますますマーケットの乱高下は激しくなると思いますが・・・。

(総括)

今回の上海モーターショーとUMCの中村創一郎氏のお話を伺い感じたことは、中国における上海のポジションは挑戦する中国の象徴でもあり、モデル地区でもあるということだ。

空港の待ち人はもはや多国籍であり、街中も多くの外国人が闊歩している。

その中で暮らす中国人特に上海っ子は小平の先富論(可能な者から先に裕福になれ。そして落伍した者を助けよ)を今後実践していくことである。

そして中国、こと上海で環境問題はより深刻であると同時に多大なマーケットが期待できるビジネスは環境ビジネスであることは疑いのない事実である。

故銅市況 動き少なく海外相場、国内採算とも保ち合い圏内 連休明け直後で品物もまだ無く、商いは閑散

5月11日入電の海外銅相場は、LMEはほとんど動きなし、NYは続落となった。為替が円高に進んだため、国内採算は現行建値水準をやや下回ってはいるものの、足元は保ち合い圏内での推移が続いている。

11日入電のLME銅相場は1ドル上昇し4,675ドル、NY銅相場は1.85セント下落し214.70セントとなった。為替はTTSが前日比0.78円、円高ドル安の99.56円、NYカーブは10ドル高で、国内採算値は3,100円安の51万1,400円となり、現行建値水準を8,600円下回っている。

為替動向としては『東京外国為替市場の円相場は、金融機関の資産査定(ストレステスト)と米国雇用統計発表が波乱なく終わったことから、これまで逃避通貨として買われていたドルが売られ

前日比1.07円、円高・ドル安の98.31~34円に推移した(銀行筋)』

週末から週明けにかけての海外相場と国内採算にほとんど動きがなく、また大型連休もようやく明けたばかりのタイミングとあって、どこも荷動きは閑散としている。「問い合わせや売り込みもなく静かだ」(複数の大手問屋)といい、定期物や以前に成約していたものが入ってくる程度だ。極度の品薄となっていることから、発生元が動き出してある程度の品物が溜まって来るまで時間がかるため、売り買い双方とも明日以降入電などを

20年度総会と懇親会を開催 大阪非鉄商協・青年部会

大阪非鉄金属商工協同組合・青年部会(赤阪靖之部会長)は5月1日、平成20年度総会を開催した。今回は役員の改選も行われ、新部会長に橋本健一郎氏(橋本アルミ)が就任した。就任のあいさつで橋本氏は「先般、上海モーターショーを見学したが大変活気にあふれていた。上海を見ているとこれからも経済は伸びると感じられる。日本も内需だけでは足りるものではなく輸出も念頭に置いた経営をしていく必要があるだろう」と話した。

基本理念を「私たちは部活動を通じて金属リサイクル業の社会性を高め、業界の発展および社会環境の向上に貢献します」と定め、行動指針としてボーダレスな情報の収集を高める、全国会員との交流を図る、社会との共存共栄に努める、とする三つの行動指針を定めた。また橋本氏は21年度会長方針として「再結束・再構築」を掲げ、組織の機能を再チェックし、体系化して再起動を行うなどのビジョンを示した。

総会終了後は懇親会に移り、会員同士の親睦を深めあった。

鋳物用銅合金地金



JIS H 2202 認証番号 QA0407021
日本工業規格認証工場
ISO 9001 認定取得

製造元 **ミカゲ金属工業(株)**

〒514 三重県津市安濃町安濃字日暮2222-2
電話 059-268-2206 代表
FAX 059-268-1949

ISO 9001 認定取得

発売元 **ミカゲ金属(株)**

大阪本部

〒541 大阪市中央区博労町3-6-7三都ビル208
電話 06-6244-3115 代表
FAX 06-6244-3116

東大阪倉庫

〒577 大阪市長堂3-11-20
電話 06-6782-3115 代表
FAX 06-6782-3143